

「材料とバイオが出会う時」

When material meets bio



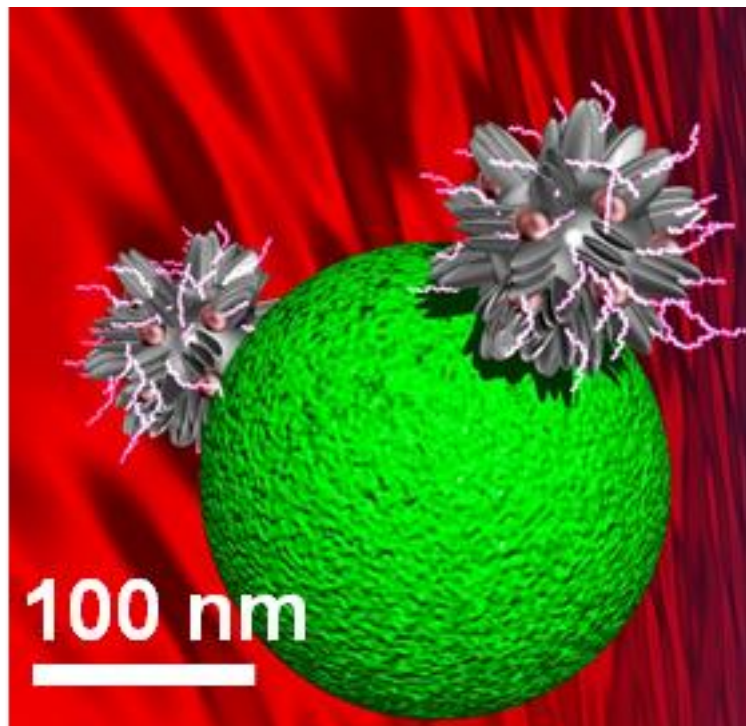
都 英次郎

先端科学技術研究科 物質化学領域

2020 **1/24日(金)** 12:40 – 13:20

会場: ラーニング・コモンズ 「J-BEANS」

我々の体は、約37兆個の細胞で構成されており、これらの細胞がお互いに相互作用しあうことで、生理活性を示し、恒常性を維持しているといわれています。一見すると複雑に見える生命現象ですが、実際のところは、例えば記憶や感情でさえも、もともとは単純な生化学反応を起点として誘起されているに過ぎません。もし、このような生体内の化学反応を人為的に操作することができれば、革新的な医療技術の開発につながるだけでなく、ヒトというものがそもそも何なのか、より深く理解することもできるかもしれません。この究極の技術と答えを出すべく、我々の研究室では、材料の持つ様々な特性を活用することで、ナノスケールレベルで体の中の生物学的な活性や健康状態をモニターし、かつ制御可能なナノバイオシステムの開発に挑戦しています。本講演では、そのような取り組みにおける、いくつかの最新の研究成果を紹介させていただきます。



生体内で光と磁場で駆動するナノ
トランスポーター

Speech: Japanese, slides: in English

ラーニング・コモンズJ-BEANSは、大学会館1階です。
J-BEANS is located on the 1F, Institute Hall.

J-BEANSセミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

担当教員: 先端科学技術研究科 マテリアルサイエンス系
教授 高村 禪

